

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E142K020		球技(ベースボール型)(Ball game (Baseball type))														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	1	3	教育学部			氏名 谷口勇一 E-mail tyuichi@oita-u.ac.jp 内線 7628										
授業の概要	近年、小学校および中学校において実施事例が増加しつつある「球技(ベースボール型)」を通して、野球、ソフトボールという教材の魅力を理解しつつ、男女共修に向けた具体的授業実践の方法等を理解する。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 ベースボール型教材のルールを理解する																
目標2 男女共修によるベースボール型授業の考え方を理解する																
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 オリエンテーション(ベースボール型なる球技科目が存在する理由)																
2 キャッチボールの方法と指導法																
3 打法の理解																
4 打法の理解																
5 打法の理解																
6 守備の理解(内野手)																
7 守備の理解(外野手)																
8 投球の科学(野球編)																
9 投球の科学(ソフトボール)																
10 ゲーム運営の方法理解																
11 ゲームの実践																
12 ゲームの実践																
13 審判の方法論理解																
14 高度な戦術理解																
15 まとめ(男女共修にもとづく楽しいゲーム実践に向けて)																
ラーニング	A:知識の定着・確認	特にゲームの実践においては、獲得し得た知識をもとに男女共修のベースボール型授業のあり方を中心に相互理解を高めるようにする。				工夫	その他の	ゲーム運営のための審判法、さらには、守備技術向上に向けたノックの方法についても理解を深める。								
タイム	B:意見の表現・交換															
ポイント	C:応用志向															
グループ	D:知識の活用・創造															
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	当該授業に向けた調べもの学習を課す。														
	事後学修	当該授業終了後には感想コメントを記述させる。														
教科書	特になし															
参考書	特になし(適宜参考資料を配布する)															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	期末試験(技術テスト)	70%														
	事後学習(コメント)内容	30%														
注意事項	特になし															
備考	ベースボール型の男女共修を意図している関係上、女子学生の積極的履修を期待する。															
リンク																
	URL															